

2024 年度年報

公益社団法人 高知県自治研究センター

目 次

1. はじめに	P 2
2. 調査・研究活動について	P 3
3. セミナーの開催について	P 4
4. 組織運営について	P 7
5. 2024 年度収支報告及び監査報告	P 10
6. 2024 年度会員名簿	P 19

1. はじめに

2024年度は、2023年度から開始した基礎研究「地域運営組織のあり方の検証に関する研究」を継続実施するとともに、2022年度から取り組んできた「等身大の日本の姿を見つめる連続セミナー」2回を含む4つのセミナーを開催してきました。

2年目を迎えた「地域運営組織のあり方の検証に関する研究」では、持続可能な地域を築いていくうえでの拠点となる地域運営組織の役割と機能を検証することを目的として、4市町4地域の集落活動センター、あったかふれあいセンターの聴き取り調査を実施しました。2年間で7市町村7地域の聴き取り調査を実施したことから、2025年1月には、「調査結果報告及び意見交換会」を開催し、この7地域の調査報告を理事会と共有するとともに、今後の研究活動の方向性について議論を行ってきました。

「客観的な日本のありのままの姿を把握して、課題解決をはかるきっかけにしたい」という目的をもって行ってきた「連続セミナー：等身大の日本の姿を見つめる」は、2024年12月1日に片山善博さんを講師に迎えた「第4回セミナー：行き過ぎた一極集中からの転換を」、2025年3月16日に藻谷浩介さんを講師に迎えた「第5回セミナー：日本の真の実力と高知の可能性」を開催しました。どちらの講演も、日本の最大の課題である「少子高齢化、人口減少」にかかわって、過去、現在、未来について語っていただきました。片山さんからは、「真の地方創生には地域本位に考える力が必要」「自治体が国の言いなりにならず『国の言うことも聞く』姿勢を持つ」「地方に魅力ある仕事をつくりだすことが重要」など、現状の行き過ぎた（人・財・権限）一極集中の流れを変えていく方策が示されました。藻谷さんからは、「出生率が低い東京に人が集まるほど子どもが消える」「過疎地から先に高齢者が増えなくなり若者を受け入れる一部の過疎地は子どもが再増加して、都会より先に再生に向かう可能性もある」という見解が示され、「確かに高知県民の所得の水準は、東京の6割、大阪の8割だが、家賃や食費の違いはもっと大きい！住居費や食費が安い地元で暮らすのが断然お得」であり、高知における地域再生は可能であるとのエールを受けました。

これらの取り組みを踏まえ、2025年度は、「地域運営組織のあり方の検証に関する研究」について、研究体制を強化して、すべての集落活動センターへのアンケート調査などさらに踏み込んだ調査を実施するすることとしています。加えて、新たに「公共交通から考える2040年の高知のまちづくり」研究に着手していきます。また、連続セミナーについては、総括シンポジウムの開催を予定しています。

2. 調査・研究活動について

1. 地域運営組織のあり方の検証に関する研究

(1) 研究の目的

高知県の中山間地域が過疎高齢化などの多様な課題を抱え疲弊し、集落の消滅が現実問題となっている中、持続可能な地域を築いていくうえでの拠点となる地域運営組織（集落活動センター、あったかふれあいセンター）の役割と機能について検証することを目的として、2023年度からこの研究を進めてきました。

(2) 調査の実施状況

2年目となる2024年度は、4つの市町において聴き取り調査を行いました。

2024年10月16日（水）

須崎市	集落活動センター「あわ」
佐川町	集落活動センター「くろいわ」
	あったかふれあいセンター「くろいわ」

2024年10月18日（金）

須崎市	あったかふれあいセンター「あわ」
-----	------------------

2024年11月6日（水）

四万十市	集落活動センター「みやの里」
	あったかふれあいセンター「いちいの郷」

2024年11月7日（木）

土佐清水市	集落活動センター「下川口家」
	あったかふれあいセンター「きずなの家」

(3) 7地域の調査報告（概要）

- ① 各地域組織において、当初の制度設計などの設立の経緯、それぞれの組織の活動実態、集落活動センターとあったかふれあいセンターの関係性などについて、聴き取り調査を行ってきました。
- ② 各地域・各集落をめぐる状況は極めて厳しく、調査したすべての地域・集落において存亡の危機が深化しています。
- ② その中でも、各集落の持続可能性を高めるためにそれぞれの地域運営組織が成果を出していくためには、集落活動センターとあったかふれあいセンターが同居し、協働して活動することが優位性を持っていることが明らかになりました。地域づくり、稼ぐ仕組みづくりを行う組織と福

祉を通じて暮らしの課題解決を行う組織の活動が融合することによって、それぞれの強みを生かして多様な取り組みが行われていると評価できます。

- ④ ただし、それぞれの地域・集落において各組織は困難な中でも懸命な活動を続けています。ほとんどの組織は、設立当初からお互いの連携が意識されずに活動を行ってきたものであり、現時点で同居か否かなど直接的な関係のあり方だけで評価することは好ましくありません。「住民自治の視点を持った地域拠点づくりが重要であること」を基本に据え、連携の概念を整理したうえで、それぞれの活動を評価していくことが必要であると考えます。

(4) 「調査結果報告及び意見交換会」の実施

2025 年 1 月には、2 年間に行ってきた 7 地域の調査報告を理事会と共有するとともに今後の研究活動の方向性について議論するために、「調査結果報告及び意見交換会」を行ってきました。

(5) 今後の研究の方向性

この研究については、研究員を補充しあらためて研究チームを結成したうえで、すでに調査に入ったいくつかの地域を選定し、再調査を行っていく予定です。その際に、高齢者が産業活動を行うことが福祉的効果（健康・元気や生きがい）をもたらすという「産業福祉」の考え方が優位性を持つという仮説をもって、研究を進めていくこととしています。

3. セミナーの開催について

1. 連続セミナー「等身大の日本の姿を見つめる」

(1) 開催状況

連続セミナー「等身大の日本の姿を見つめる」については、第 4 回目、第 5 回目のセミナーを開催してきました。開催状況は、次のとおりです。

① 「等身大の日本の姿を見つめる第 4 回セミナー」

“行き過ぎた一極集中からの転換を”

日 時	2024 年 12 月 1 日（日）	13 時 30 分～16 時 30 分
場 所	三翠園・オンライン	
講 師	片山 善博	

(大正大学公共政策学科教授兼地域構想研究所所長)

出席者 対面：35 人、オンライン：9 人

②「等身大の日本の姿を見つめる第 5 回セミナー」

“日本の真の実力と高知の可能性”

日 時 2025 年 3 月 16 日（日） 13 時 30 分～16 時 30 分

場 所 三翠園・オンライン

講 師 藻谷 浩介（(株)日本総合研究所研究員）

出席者 対面：64 人、オンライン：17 人

(2) セミナーの内容

①「第 4 回セミナー：“行き過ぎた一極集中からの転換を”」

〈要旨〉

- 東京への一極集中はとどまることを知らないが、その東京圏でも若者人口は減っており、10 年、20 年後は東京が悲惨な状態になることは押さえておく必要がある。しかし、地方圏から東京圏への流失に歯止めがかからない（特に若い女性）ことは深刻な問題である。
- 地方創生が失敗した理由は、i. 地方が真剣に考えてこなかった、ii. 地方同士の奪い合いに終始した、iii. 地方創生予算の横流しである。
- 地方にとって、働き手不足にどう対応するかが最大の課題で、生産性向上が鍵になる。そのために、ジェンダーギャップの解消等ひとり一人がこれまで以上に能力を発揮できるようにする環境づくりや地方に魅力ある仕事をつくりだすことが重要である。その際に、国の言いなりになるのではなく、国の言うこと「も」聞くという姿勢が求められている。

②「第 5 回セミナー：“日本の真の実力と高知の可能性”」

〈要旨〉

- （クイズ方式で「昭和の常識にさよならできていますか？」を問いながら）「世の中は変わった。昭和の価値観で判断しているとやっぱり間違ってしまう。令和の現実を学ぶことが重要。」
- 「今の日本の最大の危機は少子化」である。これから世界中で少子化と高齢化が進む中で、1975 年から 2024 年の間に 75 歳以上の高齢者が 7 倍に増えたにもかかわらず、一定の対応ができたことは日本の実力であると認識する必要がある。
- 「過疎地ではもう 75 歳以上の人は減り始めている」が、「反対に都会では 75 歳以上がまだ急増中」で、「田舎では年寄りの成り手が足りず、医療介護の予算が減っていくので、子育て支援に注力するチャンス」で

あり、2050年の日本は「一部の過疎地は子どもが再増加して都会より先に再生に向かう」可能性がある。

- 「過疎地は効率が悪いというのはガラパゴスの妄想」である。可住地人口密度で見ると「日本の大都市圏は世界的には異常なレベルの人口過密地」で「過疎は自然資本の豊かな適疎地帯」、「高知県内の過疎地が非効率なら先進国はどこも成り立たない」ことを知るべきである。

(3) 今後の方向性

連続セミナーについては、第5回セミナーをもって最終回とし、2025年7月にこの連続セミナーを総括するとともに、厳しい状況に置かれている高知県の課題に焦点をあてた締めくくりシンポジウムを開催することとしています。(2025年7月26日実施済み)

2. セミナー「地域主権で公共の復権を」

2025年度定時総会と合わせて、「地域主権で公共の復権を」をテーマに杉並区長の岸本聡子さんのオンライン講演を開催しました。

(1) 開催状況

日 時	2024年6月22日(土)	13時30分～15時30分
場 所	自治労会館3階会議室	
講 師	岸本 聡子(東京都杉並区長)	
出席者	対面：39人	

(2) セミナーの内容

〈要旨〉

- コモンズ(誰のものでもないみんなのものである公共財：水・エネルギー・交通・病院・農業・食べ物等)をどう運営していくかで社会のあり様が変わる。
- 「自治」とは、暮らしの未来を自分たちの手で考える行為である。これは現代的な意味でアップデートしていく必要があるが、それが2015年以降席で広まってきた運動「ミュニシパリズム運動」だと考えている。これは、地域で住民が直接参加して、合理的な未来を検討する実践によって、自由や市民権を公共空間で拡大しようとする運動である。
- 杉並区の自治に関わることになってから、「ミュニシパリズム運動」の実践に心がけ、公共財・コモンズを民主的に運営していくために、「公契約条例の浸透、適用拡大」「指定管理者制度の検証」を行うとともに、女性の労働環境改善などにも取り組んできた。
- また、「ケアする人をケアする」立場からの包括的支援体制の整備や

区民参加のグリーンインフラ整備などにも尽力してきた。

- 「対話の区政」が大きなスローガンだが、その目標は、区政が自分ごととなる区民を増やすことであり、「区民のためにではなく区民とともに」歩んでいきたいとかがえている。

3. 財政講座（「自治体経営が厳しい」ってどういうこと？）

シミュレーションゲームを通じて、自治体財政を学び、まちづくりを考えてもらうことをめざし、財政講座を開催しました。

（1）開催状況

日 時	2024 年 10 月 26 日（土）	12 時 45 分～17 時 30 分
場 所	自治労会館 3 階会議室	
講 師	今村 寛（福岡地区水道企業団総務部長）	
出席者	対面：28 人	

（2）講座の内容

第 1 部として、約 1 時間地方財政の基本から地方財政の構造、課題についての講義が行われました。第 2 部では、参加者が 4 つのグループに分かれ、自治体経営シミュレーションゲーム「SIM ふくおか 2035」に取り組みしました。ゲームでは、それぞれが架空の自治体「えふ市」の幹部職員・局長として、他の局長と対話をしながら、2030 年、2035 年の予算を作成しました。また、議会でのやり取りも行い、作成した予算についての質問、答弁も体験しました。

その後、第 3 部として、ゲームの振り返りが行われ、講師からビルド&スクラップの重要性、何より対話が大切であることが強調されました。

4. 組織運営について

1. 2024 年度定時総会の開催

- （1）日 時 2024 年 6 月 22 日（土） 15 時 45 分～16 時 40 分
- （2）場 所 自治労会館 3 階会議室
- （3）出席状況 会員総数 77 人（団体会員 28 人、個人会員 49 人）中
70 人（団体会員 26 人、個人会員 44 人）出席
うち 27 人（団体会員 10 人、個人会員 17 人）委任状
16 人（団体会員 9 人、個人会員 7 人）議決権行使書
- （4）議 事
第 1 号議案 2023 年度事業報告の承認について

- 第2号議案 2023年度収支報告の承認および監査報告について
第3号議案 任期満了に伴う役員の改選(案)について
その他

2. 理事会の開催

(1) 2024年度第1回理事会

- ① 日 時 2024年6月1日(土) 10時00分～10時30分
② 場 所 高知共済会館
③ 出席状況 理事・監事15人中11人出席
④ 議 事
第1号議案 2023年度事業報告の承認について
第2号議案 2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認について
第3号議案 新規会員の承認について
その他

(2) 2024年度第2回理事会

- ① 日 時 2024年6月22日(土) 16時15分～16時25分
② 場 所 自治労会館3階会議室
③ 出席状況 理事・監事15人中13人出席
④ 議 事
第1号議案 役員等の選任について
その他

(3) 2024年度第3回理事会

- ① 日 時 2024年9月28日(土) 15時00分～17時00分
② 場 所 高知共済会館
③ 出席状況 理事・監事15人中10人出席
④ 議 事
第1号議案 地域運営組織のあり方の検証に関する調査研究について
第2号議案 「連続セミナー：等身大の日本を見つめる」について
第3号議案 自治体財政講座について
第4号議案 産業福祉研究について
第5号議案 ポスト公共交通研究について
第6号議案 新規会員の承認について
第7号議案 第4回理事会の日程について

その他

(4) 2024 年度第 4 回理事会

- ① 日 時 2024 年 12 月 14 日 (土) 10 時 00 分～12 時 05 分
- ② 場 所 高知共済会館
- ③ 出席状況 理事・監事 15 人中 11 人出席
- ④ 議 事
 - 第 1 号議案 「連続セミナー：等身大の日本を見つめる」について
 - 第 2 号議案 地域運営組織研究について
 - 第 3 号議案 (仮称) 産業福祉シンポジウムについて
 - 第 4 号議案 ポスト公共交通研究について
 - 第 5 号議案 旅費規程の見直しについて
 - その他

(5) 2024 年度第 5 回理事会

- ① 日 時 2025 年 3 月 22 日 (土) 10 時 00 分～12 時 00 分
- ② 場 所 高知共済会館
- ③ 出席状況 理事・監事 15 人中 10 人出席
- ④ 議 事
 - 第 1 号議案 研究の進捗状況と今後の方向性について
 - 第 2 号議案 2025 年度事業計画 (案)
 - 第 3 号議案 2025 年度収支予算書 (案) について
 - 第 4 号議案 2025 年度定時総会の日程について
 - 第 5 号議案 2025 年度第 1 回理事会の日程について
 - 第 6 号議案 旅費規程の見直しについて
 - その他

5. 2024年度収支報告及び監査報告

貸借対照表

2025年 3月31日現在

公益社団法人 高知県自治研究センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,274,916	6,055,415	780,499
未収金	5,000	0	5,000
前払金	30,000	30,000	0
流動資産合計	5,309,916	6,085,415	775,499
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	266,400	176,040	90,360
事業積立預金	800,000	700,000	100,000
特定資産合計	1,066,400	876,040	190,360
固定資産合計	1,066,400	876,040	190,360
資産合計	6,376,316	6,961,455	585,139
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	147,299	179,338	32,039
預り金	40,478	61,861	21,383
流動負債合計	187,777	241,199	53,422
2. 固定負債			
退職給付引当金	266,400	176,040	90,360
固定負債合計	266,400	176,040	90,360
負債合計	454,177	417,239	36,938
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(800,000)	(700,000)	(100,000)
正味財産合計	5,922,139	6,544,216	622,077
負債及び正味財産合計	6,376,316	6,961,455	585,139

貸借対照表内訳表

2025年 3月31日現在

公益社団法人 高知県自治研究センター

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,274,916	0	5,274,916
未収金	5,000	0	5,000
前払金	30,000	0	30,000
流動資産合計	5,309,916	0	5,309,916
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	239,760	26,640	266,400
事業積立預金	800,000	0	800,000
特定資産合計	1,039,760	26,640	1,066,400
固定資産合計	1,039,760	26,640	1,066,400
資産合計	6,349,676	26,640	6,376,316
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	147,299	0	147,299
預り金	40,478	0	40,478
他会計借入金	72,747	72,747	0
流動負債合計	115,030	72,747	187,777
2. 固定負債			
退職給付引当金	239,760	26,640	266,400
固定負債合計	239,760	26,640	266,400
負債合計	354,790	99,387	454,177
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	5,994,886	72,747	5,922,139
(うち特定資産への充当額)	(800,000)	(0)	(800,000)
正味財産合計	5,994,886	72,747	5,922,139
負債及び正味財産合計	6,349,676	26,640	6,376,316

貸借対照表附属明細書

財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書の記載は省略しています。

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

公益社団法人 高知県自治研究センター

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[2]	[1]	[1]
特定資産受取利息	2	1	1
受取会費	[1,395,000]	[1,247,000]	[148,000]
正会員受取会費	1,395,000	1,247,000	148,000
受取寄付金	[5,800,000]	[5,800,000]	[0]
受取寄付金	5,800,000	5,800,000	0
雑収益	[1,290]	[69]	[1,221]
受取利息	1,290	69	1,221
経常収益計	7,196,292	7,047,070	149,222
(2) 経常費用			
事業費	[6,477,542]	[5,013,126]	[1,464,416]
給料手当	3,119,248	2,085,145	1,034,103
退職給付費用	81,324	81,756	△ 432
福利厚生費	467,355	389,542	77,813
旅費研究費	330,784	203,177	127,607
通信運搬費	171,321	122,473	48,848
事務賃借料	579,519	683,035	△ 103,516
新聞図書費	2,000	5,720	△ 3,720
研修会議費	520,483	566,158	△ 45,675
消耗品費	24,706	49,909	△ 25,203
印刷製本費	579,370	454,340	125,030
諸謝金	595,015	367,522	227,493
支払手数料	6,417	4,349	2,068
管理費	[1,340,827]	[1,216,193]	[124,634]
給料手当	346,582	231,683	114,899
退職給付費用	9,036	9,084	△ 48
福利厚生費	51,930	43,280	8,650
会議研修費	290,666	236,764	53,902
通信運搬費	45,840	42,554	3,286
事務賃借料	248,366	292,728	△ 44,362
消耗品費	10,588	21,389	△ 10,801
支払手数料	322,819	323,711	△ 892
諸会費	15,000	15,000	0
経常費用計	7,818,369	6,229,319	1,589,050
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 622,077	817,751	△ 1,439,828
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 622,077	817,751	△ 1,439,828
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 622,077	817,751	△ 1,439,828
一般正味財産期首残高	6,544,216	5,726,465	817,751
一般正味財産期末残高	5,922,139	6,544,216	△ 622,077
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,922,139	6,544,216	△ 622,077

正味財産増減計算書内訳表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

公益社団法人 高知県自治研究センター

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[0]	[2]	[2]
特定資産受取利息	0	2	2
受取会費	[55,465]	[1,339,535]	[1,395,000]
正会員受取会費	55,465	1,339,535	1,395,000
受取寄付金	[5,800,000]	[0]	[5,800,000]
受取寄付金	5,800,000	0	5,800,000
雑収益	[0]	[1,290]	[1,290]
受取利息	0	1,290	1,290
経常収益計	5,855,465	1,340,827	7,196,292
(2) 経常費用			
事業費	[6,477,542]	[0]	[6,477,542]
給料手当	3,119,248	0	3,119,248
退職給付費用	81,324	0	81,324
福利厚生費	467,355	0	467,355
旅費研究費	330,784	0	330,784
通信運搬費	171,321	0	171,321
事務賃借料	579,519	0	579,519
新聞図書費	2,000	0	2,000
研修会議費	520,483	0	520,483
消耗品費	24,706	0	24,706
印刷製本費	579,370	0	579,370
諸謝金	595,015	0	595,015
支払手数料	6,417	0	6,417
管理費	[0]	[1,340,827]	[1,340,827]
給料手当	0	346,582	346,582
退職給付費用	0	9,036	9,036
福利厚生費	0	51,930	51,930
会議研修費	0	290,666	290,666
通信運搬費	0	45,840	45,840
事務賃借料	0	248,366	248,366
消耗品費	0	10,588	10,588
支払手数料	0	322,819	322,819
諸会費	0	15,000	15,000
経常費用計	6,477,542	1,340,827	7,818,369
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 622,077	0	△ 622,077
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 622,077	0	△ 622,077
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 622,077	0	△ 622,077
当期一般正味財産増減額	△ 622,077	0	△ 622,077
一般正味財産期首残高	6,616,963	△ 72,747	6,544,216
一般正味財産期末残高	5,994,886	△ 72,747	5,922,139
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,994,886	△ 72,747	5,922,139

正味財産増減計算書附属明細書

財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書の記載は省略しています。

財産目録

2025年3月31日 現在

(単位：円)

科目	場所等	物量	使用目的等	金額
I 資産の部				
1. 流動資産				5,309,916
現金・預金				
普通預金	四国労働金庫 高知支店 普通預金 3377677		運転資金として保有	5,274,916
未収金			クンペル高知健康診断助成金	5,000
前払金	(一財) 自治労会館		家賃の前払い分	30,000
流動資産合計				5,309,916
2. 固定資産				1,066,400
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	四国労働金庫 高知支店 定期預金 4294390		公益目的事業の退職給付引当金見合い資金として管理している。	239,760
			法人会計の退職給付引当金見合い資金として管理している。	26,640
事業積立預金	四国労働金庫 高知支店 普通預金 3377677		特定費用準備資金であり公益社団法人移行20周年事業に使用するため規定により積立、管理している。	800,000
特定資産合計				1,066,400
固定資産合計				1,066,400
資産合計				6,376,316
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金				147,299
	株式会社英光事務機		パフォーマンスチャージ代金の未払い分	2,200
	日本郵便株式会社		後納郵便代金の未払い分	8,436
	厚生労働省		社会保険料3月分	24,592
	株式会社朝日ネット		プロバイダ料の未払い分	1,650
	N T Tファイナンス株式会社		電話料金の未払い分	14,090
	従業員		3月給与・残業手当の未払い分	96,331
預り金				40,478
	従業員		従業員から預かった社会保険料	24,016
	従業員		従業員から預かった雇用保険料	16,462
流動負債合計				187,777
2. 固定負債				
退職給付引当金			公益目的事業の従業員に対する退職金支払いに備えたもの。	239,760
			法人会計の従業員に対する退職金支払いに備えたもの。	26,640
固定負債合計				266,400
負債合計				454,177
正味財産				5,922,139

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用しています。

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、社内規定による期末現在の要支給額により計上しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	176,040	90,360	0	266,400
事業積立預金	700,000	100,000	0	800,000
合 計	876,040	190,360	0	1,066,400

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
退職給付引当資産	266,400	(0)	(0)	(266,400)
事業積立金	800,000	(0)	(800,000)	(0)
合 計	1,066,400	(0)	(800,000)	(266,400)

監査報告書

公益社団法人 高知県自治研究センター
理事長 東森 歩 殿

私たち監事は、2024（令和 6）年 4 月 1 日から 2025（令和 7）年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2025 年 5 月 21 日

公益社団法人 高知県自治研究センター
監 事 森川 直只



公益社団法人 高知県自治研究センター
監 事 山本 洋子



6. 2024年度会員名簿

高知県自治研究センター2024年度会員

団体会員

1	県 職 連 合
2	高 知 市 職 労
3	土 佐 清 水 市 職 労
4	宿 毛 市 職 労
5	須 崎 市 職 労
6	土 佐 市 職 労
7	南 国 市 職 労
8	香 南 市 職 労
9	黒 潮 町 職 労
10	中 土 佐 町 職 労
11	日 高 村 職 労
12	い の 町 職 労
13	仁 淀 川 町 職 労
14	馬 路 村 職 労
15	共 済 労 組
16	仁 淀 衛 生 事 務 労 組
17	国 保 労 組
18	住 宅 供 給 公 社 労 組
19	建 設 技 術 公 社 労 組
20	支 援 員 労 組
21	須 崎 市 民 保 労 組
22	高 知 競 輪 競 馬 労 組
23	県 本 部 書 記 労
24	自 治 労 高 知 県 本 部
25	連 合 高 知 連 合 会
26	全 水 道 高 知 水 道 労 組
27	黒 潮 町
28	防 治 会

個人会員

1	畦 地 和 也
2	石 川 俊 二
3	折 田 晃 一
4	川 田 勲
5	川 崎 敬 子
6	坂 本 茂 雄
7	筒 井 早 智 子
8	堀 洋 子
9	山 崎 秀 一
10	山 村 一 正
11	山 本 洋 子
12	田 尾 隆
13	福 永 明
14	津 野 誠
15	中 山 久 美
16	森 下 乃 文
17	児 嶋 鈴 香
18	高 橋 立 一
19	中 平 正 幸
20	岡 林 俊 司
21	間 嶋 祐 一
22	岡 崎 邦 子
23	武 内 則 男
24	竹 村 暢 文
25	中 山 研 心
26	森 幹 夫
27	石 井 孝
28	関 隆
29	東 森 歩
30	山 下 久 人
31	國 弘 昭
32	山 中 誠
33	大 野 辰 哉
34	山 崎 幹 生
35	森 尚 子
36	福 田 善 乙
37	横 山 定 子
38	伊 藤 豊 隆
39	小 坂 雄 一 郎
40	北 村 香 奈 江

41	弘 田 条
42	森 川 直 只
43	吉 岡 章
44	横 山 浩 司
45	明 神 千 代
46	福 富 真 子
47	中 岡 歩 美
48	松 本 信 之 助
49	門 吉 直 人
50	北 村 美 佳